

SSC 埼玉県障害者社会参加 推進 センターだより

令和7年9月30日 146号

編集

埼玉県障害者社会参加推進センター

〒330-8522

さいたま市浦和区大原3-10-1

県障害者交流センター内

TEL 048-825-0707

FAX 048-825-3070

メールアドレス

ssk080321@bz03.plala.or.jp

HPアドレス

http://saitama-shokyo.org/info/

発行

NPO法人埼玉障害者センター

〒330-8522

さいたま市浦和区大原3-10-1

頒価

一部100円(会費に含まれます)

発行日

10日・20日・30日

○ はじめに

埼玉県が所有するリフト付き大型バス（おおぞら号）の運行終了と障害者保養施設伊豆潮風館の廃止が公表されました。

私たち障害者団体、障害当事者（特に車いすユーザーなど肢体障害者）にとっては、おおぞら号は社会参加、仲間との交流、研修での外出と移動の利用等で必要不可欠な交通手段です。民間バスではそのようなリフト付きバスはまだまだ少なく、利用料金は一般の貸切バスの1.5倍に

なります。高額で障害者団体が負担できるものではありません。また、伊豆潮風館についても令和9年度末で廃止です。多くの障害者及びその家族などが保養、観光、会議などで利用しています。そして、県内からの送迎バスが出ることも利便性を高めています。

運転手不足の問題、老朽化による多額の維持管理経費などが、運行終了、廃止の理由ですが、埼玉県が他県に誇れる先進的な事業として、継続・存続を大野知事に要望しました。要望内容は以下のとおりです。



〈大野知事との面会〉

リフト付き大型バスおおぞら号及び 障害者保養施設伊豆潮風館の 事業継続を知事に要望

NPO法人埼玉県障害者協議会

代表理事

田中 一

たなか はじめ



① リフト付き大型バス(おおぞら号)の運行継続・存続を求めます

(1) 障害者団体、車いすユーザー、肢体障害者にとってのおおぞら号は社会参加を支援する大切な県単事業です。

障害者の社会参加の支援に重大な影響を及ぼすものであり、存続をお願いするものです。

特に障害者団体、車いすユーザーや肢体障害者にとっては、おおぞら号が運行することによって交流・ふれあいの機会や多様な研修機会に計り知れないほど大きな役割を果たしてきました。

(2) 民間の貸切バス会社がおおぞら号に変わる役割を果たせるのでしょうか。

民間旅行会社による障害者向けバスツアーが始まっていますが、高額であり負担があまりにも大きすぎます。

また、個人利用ではなく障害者団体の社会参加、施設見学、障害者団体との交流、研修先訪問など多様な使い方でおおぞら号を利用

しています。そのような利用はおおぞら号だからできるものです。

(3) 運転手不足等の理由でおおぞら号が終了するのは障害者福祉の後退ではないでしょうか。

運転手不足で運行が困難としていますが、障害者団体、障害者の社会参加を保障する施策であり、あらゆる方策を総動員して継続を望みます。

(4) 50 年以上経てもその役割は継続しています。

まだまだ社会全体のバリアフリー化、心のバリアフリー化は道半ばであり、この事業の終了に結びつくものではないと考えます。



〈リフト付き大型バス おおぞら号〉

② 伊豆潮風館を廃止するのではなく、存続・充実を図ってください

おおぞら号の運行継続も含め、伊豆潮風館の果たしてきた役割は、障害者の社会参加、QOLの向上に大きく貢献してきました。

多くの障害者が置かれている生活実態を考慮すると、廃止ではなく存続・充実が求められます。



〈伊豆潮風館〉©埼玉県伊豆潮風館HPより

③ 障害当事者、利用団体との協議の場の設置

おおぞら号は運行終了まで残すと

ころ後6か月余り、伊豆潮風館は令和10年3月末で廃止としていますので、この二つの事業の課題・問題点などを協議、意見交換ができる障害当事者、利用団体との協議の場を早急に設置していただくことを要望します。

○ 知事との面談

去る7月8日、知事と面談、おおぞら号と伊豆潮風館の事業継続について要望書を手交しました。

知事からは、「今日、社会全体のバリアフリー化が進み、民間による障害者向けバスツアーなどのユニバーサルツーリズムも始まってきている。昨今のバス運転手不足により運行が見通せない状況にある。また、民間によるバリアフリーの宿泊施設も整備されてきたこともあり、継続する必要性は薄らいできている。」との見解が示されました。

今後あらゆる機会をとらえ二つの事業の継続を要望していきたいと考えています。皆様の御支援と御協力をお願いします。



令和7年6月19日(木)に、埼玉県障害者交流センター調理室にて、「埼玉県障害難病団体協議会(略称:障難協)」と、その加盟団体である「日本てんかん協会埼玉県支部」の共同開催で、当支部会員・栄養士の久保木順子さんの指導の下、料理教室が開催されました。

みんなの集い 料理教室

楽しかった！
おいしかった！

一般社団法人
埼玉県障害難病団体協議会



今回は、『簡単なのに本格的なカレー』の調理。

メインメニューは、

① 調味料にケチャップとカレー粉のみを使う

「具材たっぷりドライカレー」

② 大根・セロリ・りんごを使ったレモン風味のさわやかな「レムラード風サラダ」

③ マンゴー・バナナ・ヨーグルトで作った冷たい「スムージー」の、三品です。



どれも美味しく短時間で作れるので、暑い夏のキッチンにはもってこいのメニューです。出来上がった料理をいただきながら、参加者11名の皆さんで楽しく交流の時間が持てました。

《皆様のお声・アンケートからの感想》

◎美味しかった。カレーはカロリーが多いが、今日のカレーは豆類が多く健康的な料理で良かった。

◎自分では作らないメニューでとても簡単に美味しかったです。みんなと一緒に食べられて、嬉しいです。



◎簡単で美味しかった。いつも自分では使わない材料を、使っていた。自分でも使ってみようと思いました。サラダも今まで作ったことのないタイプのサラダでどんな味になるか(作っていて)楽しみでした。

◎カレールウを使っていないのであっさりとして食べやすかったです。豆のカレーは初めて作ったので、うれしかったです。食後のおしゃべりも楽しかったです。

◎カレーも野菜が多くおいしかったです。

◎今日もわきあいあい楽しく、短時間料理で楽しかったです。



地区研修会

川口医療講習会報告

日本オストミー協会埼玉県支部

葛西 誠かつさい まこと

7月14日(土)、川口市川口メディアセブンイレブにて、日本オストミー協会埼玉県支部と埼玉県障害者協議会との共催による医療講習会を開催いたしました。

第一部は、十束英志先生(健身会大袋病院)の「がん治療現状と新しい知見」、続いて、第二部は岡田純子先生(流山中央病院皮膚・排泄ケア特定認定看護師)による「老化および認知機能低下とストーマケア」と2つのテーマです。

会場には、52名の会員、医療関係者が参加され、活発な質疑応答もあり無事開催することができました。賛助会員の装具業者も6社の方が参加いただき製品の展示説明会も行われました。最初に、埼玉県障害者協議会代表理事田中一様からのメッセージを披露しました。「埼玉県委託事業啓発交流事業、地区研修会医療講習会が川口市で盛大に開催できることを心よりお慶び申し上げます。この研修会は、オストメイトの社会復帰や生活の質の向上を目指して医療に関する講演等を行なうものとお聞きしています。本

日の講習会が実り多いものであることを心よりご期待申し上げます。貴団体の日頃から当協議会に対するご支援・ご協力に深く感謝申し上げますとともに、研修会参加者、各位のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。」



第一部の講演は「がん治療現状と新しい知見」についてです。

現代の死因ランキングは悪性新生物、いわゆる、がんが依然第一位であり、年代別でも、40代から80代までは、第一位となっています。

発がんの原因は、日常発生するがんを、免疫力が元気ならがんを撲滅、免疫力が低下するとがんが発育します。発がん物質は種々多様で、各種がんの発がん物質は一覧化されています。

がんの再発とは手術、化学療法、放射線療法で消滅したと思われた腫瘍細胞が、目(画像)に見えないかたちで残っていて時間をおいて発育する病態であります。

がんの三大療法は、外科治療・放射線・化学療法で、外科治療では術式の縮小化が進み、免疫療法の研究も進んでいます。



最近の話題は、带状疱疹ワクチンがとりあげられています。带状疱疹の概要は次の通りです。

病態は神経に沿った帯状の水疱で、小児期に罹った水痘(水ぼうそう)の病原体が神経内に残存し、過労やストレスなどによる抵抗力低下時に活性化して発症するものです。水痘経験者なら誰でも発症する可能性がありますが、他人へ感染力は弱いものです。带状疱疹は何度でも発症する病気です。予防接種をお勧めします。

第二部は「老化および認知機能低下とストーマケア」についてです。

老化は何歳からかの一律な定義はありません。65～74歳では心身の健康が保たれており、活発な社会活動が可能な人が大多数で、日本老年学会の老化現象に関する経年的変化を検討した結果、従来の65歳以上を高齢者とすることに否定的な意見が強くなっている、75歳以上を高齢者の新たな定義が提案されています。

認知機能とは、理解、判断、論理などの知的機能で、五感（視、聴、触、嗅、味）を通じて外部から入ってきた情報から物事や自分の置かれている状況を認識、自由に言葉を話し、計算や学習し、記憶して問題解決のため深く考える機能です。

認知機能の低下とは、記憶、注意、言語、実行機能といった認知機能に関わる能力が低下している状態のことです。

ど忘れとは、記憶の過程のうち、想起（過去の経験や記憶を思い出すこと）する働きが思うようにできないことで、老眼鏡が欲しくなる年代に一致しています。

記憶の3つの過程は、

① **記憶力**（新しい情報を覚えこむ）



② **保持**（記憶を脳に記録する）

③ **想起**（必要時に意識に引き出す、想起された物事に間違いがないか無意識にチェックする）

3段階です。

障害物を認識してから、ブレーキを踏むまでの突発的な何かに反応する時間や反射的な行動は老化とともに難しくなる。老化による衰えは普通ですが、老化を遅らすことは今からでもできる対策があります。

認知予備能、**認知的活動**を意識することやメモや予定表日記の活用することです。

認知予備能というのは、老化に伴う変化に適応する能力の基盤であり、認知機能の

変化には個人差があります。認知機能の維持や生活の質の維持が重要な役割を持ちます。

老化が認知機能に影響を与える要因は、生活習慣が有ります。

運動は注意力や記憶力を支える海馬に影響し、**食事**は脳の血流を促進し、**睡眠**は記憶力や情報処理能力に重要で、睡眠の質が低い、睡眠不足は注意力や記憶力に悪影響、認知症リスクを増加させます。



認知的活動には2種類あって

① **個人的活動**は、読書や書き物、パズル、音楽鑑賞、芸術鑑賞などがあります。

② **社会的活動**は、家族や友人との交流、地域活動への参加、趣味やグループ活動、ボランティア活動、自治会活動などがあり認知機能に影響します。

要は、**外交的、内向的**それぞれの活動を通じて楽しむことが大切です。



戦後
80年

みんなで一緒に叶えよう 夢も希望も 平和とともに
誰もが大事にされる温かい社会を～

県民啓発事業

埼玉障害者 まつり

第46回

参加費無料

被爆・戦後80年

「平和な社会へ！みんなあつまれシンポジウム」

とき 10月5日(日) 9:30～15:00

ところ 埼玉県障害者交流センター



埼玉障害者まつり

かかせん
お願ひ!

検索

埼玉障害者まつりのホームページをご覧ください
(多くの人にお知らせください！)

戦後80年、平和で成熟した社会をめざそう！

人々の生活が一変する時があります。ある日突然、職を失った時、病に倒れた時、職を失った時、父や母そして働き手を失った時、肉親が病に倒れたり、障害を負った時、その時あなたならどうしますか？一人ではどうすることもできません。救いの手を伸ばすこともできず、奈落の底に落ちて行く恐怖感に襲われます。

少しでも知識があったり、同じ悩みを抱える人に出会え、相談できたり、周りの人と手をつなぎ、それを社会や行政が、しっかりその役割を果たせば、明日に道が開け、安心して生活を送ることができでしょう。

そして平和でなければ夢や希望も持てません。日本は戦後80年、先の戦争の戦争の教訓と憲法9条の下、戦争に巻き込まれることはありませんでした。戦争の準備でなく、平和を続けて行くために、飢餓や争い事をなくすことです。ロシア・ウクライナ、イスラエル・パレスチナ等、決して武器で平和は作れません。

成功のカギは、どれだけみんな
で「まつり」をつくるかです

ボランティア大募集！

文化祭・学園祭のおまつりのノリで、お手伝いください！メールやTEL等でご連絡ください。

埼玉障害者まつり実行委員会

主催

◎特定非営利活動法人 埼玉県障害者協議会

◎障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会

〒330-0046 埼玉県さいたま市浦和区大原3-10-1

実行委員会事務局 埼玉県障害者交流センター内 電話・FAX 048-833-7027

E-mail syousairenssc@hop.ocn.ne.jp

年に一度のおまつり、ご近所のみなさま、おさがせ
しますが、ご協力おねがいします。

障害者まつりや障害者運動を盛り上げる 協賛金・支援のご協力を！

- ①みんな集まれ、ひとりぼっちの障害者をなくそう！
- ②障害者の文化・スポーツ・レクリエーションの発展のために！
- ③差別や偏見をなくし障害者問題への理解を広げよう！

上記の主旨で始まった埼玉障害者まつりも、多くの皆様方のご支援の中で46回目の開催となりました。この日を楽しみにしている障害者・家族がたくさんいます。企画の準備、運営スタッフやボランティア参加者の手配、送迎車確保等の資金が必要です。ぜひ、個人団体は問わず、企業や商店として、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

事務局 電話・FAX 048-833-7027

E-mail syousairenssc@hop.ocn.ne.jp

振込先 郵便振替 口座名 障害者まつり

00160-4-57438

雨にも負けず開催します！台風などで駐車場が浸水した場合は中止し、出直します

レクリエーションのつどい

「養護園滑川会場」を開催して

スポーツ・レクリエーション教室実行委員長

やぎた
八木田
よしなり
吉成

6月25日(水) 比企郡滑川町
和泉所在の障害者支援施設「養
護園滑川」二階食堂・談話室に
おいて、令和7年度障害者レク
リエーション活動等実施事業
「レクリエーションのつどい」
を開催しました。

施設側岡田幸江施設長以下、
入所者37名・職員20名・家族等
20名の計77名の方々が、我々12
名(実行委員等6名・オストミ
ー協会3名・狭山カーレック
ラブ3名)を、お赤飯を盛り合
わせた昼食まで用意されて明る
く楽しみに迎えて頂きました。



「少しでも体を動かそう」を
モットーに、ハンドアーチェリ
ー・輪投げ・ボッチャ・カーレ
ット・カローリングの個人種目、
更に全員参加の団体競技「大玉
送り」を実施しました。

併せて実施のスタンプラリー
に押印された際の、うれしそう
な表情を見ると参加した方々が
我々の想像以上に心から楽しん
でいるのを身にしみて感じなが
ら、体を動かし共に汗を流しス
ポーツレクリエーションを楽し
みました。

事故もなく無事に終了し「ま
た楽しみに待ってるから来て
ね!」の一言を糧に、ほんの少
しですが皆さんが明るく・楽し
く・元氣よくリフレッシュして
頂いた事と思われ、次回もまた
頑張ろうと決意致しました。



令和 7 年度 障害者レクリエーション活動等実施事業

リラックススポーツを楽しもう 2

(共催：埼玉県膠原病友の会)

日 時：令和 7 年 11 月 6 日 (木) 14:00~15:30

会 場：埼玉県障害者交流センター 体育館

当日は
体育館履きを
ご持参ください



まずは椅子に座りながら簡単にできるストレッチで気持ちよく体をほぐし、後半は、初心者でも楽しめる卓上カーリング「カーレット」を皆で体験して楽しく交流しましょう。

ご参加希望の方は、下記の連絡先にお申込ください。 申込締切日：令和 7 年 10 月 28 日 (火)

さいたまけんしょうがいしゃきょうぎかいじむきょく
埼玉県 障 害 者 協 議 会 事 務 局

☎ 048-830-0707

✉ ssk080321@bz03.plala.or.jp

埼玉新聞より



埼玉県の保有するリフト付き大型バス「おおぞら号」の運行について
埼玉新聞から取材を受けた記事が
9月11日の埼玉新聞に掲載されました。

JRジパング倶楽部

特別会員(身体障害者)制度のご案内

☆割引内容

身体障害者手帳により購入できる乗車券以外の急行や特急券が2~3割引きで購入できる制度です。

【更新】の方へ

お振込みでのお手続きができるようになりました。

【振込先】郵便局 口座番号:00230-6-91888

加入者名:社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会

※振込手数料は、お客様負担となります。

---通信欄へ会員番号 期限 お名前をご記入ください。---

例) A〇〇〇〇〇〇 2024/1末 名前 〇〇〇子

加入資格

身体障害者手帳をお持ちの方
男性60歳以上 女性55歳以上

◎年会費(新規・更新) 1,400円

◎再発行手数料 630円

◎更新手続き 有効期限の前月の1日から有効期限内にお済ませください。
なお、有効期限過ぎてのお手続きをしますと、「新規手帳」となりますのでご注意ください。

●お問い合わせは事務局へ

埼玉県身体障害者福祉協会事務局

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎3F

TEL048-822-2768 FAX048-831-6442



編集後記

事務所のある団体交流室の20年物の冷蔵庫が壊れてきたため、購入資金の足しにするために、バザーを開催することになりました。初めての試みですが、関係者の皆さんの協力で、現在続々と商品が集まっています。中には結構レアなものもありそうです。興味のある方はぜひ10/5埼玉県障害者交流センターで開催の「埼玉障害者まつり」館内の「団体交流室バザー」にお立ち寄りください。 〈郷古〉